

広報

なかとんぼ

2

No.651
2014

北緯45度癒しの里
中頓別町



木札のぶつかる音が響いていました

Contents・目次

第31回しほれまつり	2.3
平成26年成人式	4
まちの話題	5
インフォメーション	6.7
図書室だより	8
健康宅配便	9
戸籍だより・あとがき	10

毎年恒例の「カルタ大会」が1月12日、柔剣道場で行われ小学生低学年から中学生まで参加しました。

会場内は静寂の中、木札と木札のぶつかる音が響き渡り、選手たちは読み手の声に耳を傾けていました。

ロマン息づく大自然の町—中頓別



冬でも外で 楽しもう！！

早食い競争決勝戦の様子



今年で31回目を迎えた北緯45度しばれまつりが1月25日、天北線メモリアルパークで開催されました。昨年は、まつり当日が猛吹雪により翌日開催となりましたが、今年は、最高気温がプラス1・2℃となるほど暖かいしばれまつりとなり、町民のみなさんが一生懸命制作した雪像も融けかけ、イベントが始まってからも雪像の手直しをしている方もいました。

13時30分から始まったイベントも、毎年好評の大崎上島町の特産物であるミカン類は、30分もしないうちに売り切れる品物もあり、会場内では箱でミカンを購入入して、ボブスレーにたくさん乗せて買い物をしていく方が見られました。

目玉イベントである、商工会青年部主催の「早食い競争」では、予選・決勝とあり、中頓別銘菓を早く食

第31回 日中はなんとプラスの気温！ 北緯45度しばれまつり

大崎上島町のミカンを
購入しにきた人々



べた方上位3名が決勝戦に進みました。決勝に進んだ選手を待ち受けていたのは、砂金ようかん1本で、会場内は驚きとどよめきが湧き上がりました。圧倒的な早さで食べた上駒地区の石黒大和さんが優勝景品を手に入れました。

「スノーフラッグ」では、足場のぬかるむ雪

の中を果敢に走り、何回も転びそうになりながら一番にフラッグを取った、上駒地区の犬飼厚史さんが優勝景品を手に入れました。犬飼さんは昨年も参加し残念ながら優勝できませんでした。犬飼さんが、今年は見事にリベンジを果たすことができました。こうして、子どもから大人まで楽しめる商工会青年部主催の競技は熱戦のうち

に終わり、優勝者には5,000円の灯油券が当たり参加した皆さんは楽しんだ様子でした。





2人仲良く、イチ・ニ・イチ・ニ!

その後、中頓別小学生によるまとい太鼓を会場内で奏で、会場内にいる観客は和太鼓の迫力ある音を聞きいっていました。その他にも、「サッカーゲーム」や「かんじき2人3脚」など会場内では、応援と歓声が響き渡るなか競技が行われました。



2人仲良く、転ぶじやった。

来年のしばれまつりは、どんな天候になるのでしょうか。また、どんな雪像が会場内に並ぶのか、想像すると今から楽しみですね。

まつりの最後を締めくくったのは、毎年恒例の花火ファンタジア。澄みきったなかとんべつの大空に大輪の綺麗な花を



厚生園利用者の力作のクマモンです。



力強い演奏をする小学生



昨年のリベンジを果たした犬飼さん

祝平成26年

中頓別町成人式



多くの来賓に見守られ 7名の新成人が未来を背負って立ちます。

新成人氏名
(右側から)

奥野	祐人さん
遠藤	光平さん
古谷	詩織さん
下山	英恵さん
小野	咲さん
桑原	侑平さん
中川	大城さん

平成26年中頓別町で新成人を迎えた方は7名
久しぶりの対面で話に花が咲きました。

平成26年成人式が1月12日、役場大会議室で開催され14名の該当者のうち7名の新成人が参加し、大人の仲間入りをしました。式典には、多くの来賓の方々の出席をいただき、厳粛な中行われました。

式典では、野邑町長より新成人に「皆さんは、無限の可能性を秘めた日本の宝物で、国家の重要な一員として貴重な権利と義務が与えられます。そして権利と義務を使って社会に貢献してもらいたいと思います。私が子どもの頃両親によく言われたことは、人に迷惑をかけない人になりなさいと言われました。人に迷惑をかけないことだけではなく、人に信頼され人のためになる人間になっていただきたいと思います。」と。はなむけの言葉が贈られました。

引き続きあいさつに立った村山町議会議長が「皆さんは本日から立派な社会人として法律上においても独立した、一人前の人としての自覚をもって自分に対して、社会に対しても責任ある行動のとれる人になってほしいと思います。この先いろいろな困難にぶつかるところがあるとありますが、皆さん人生はこれからが本番です。」と激励しました。

新成人を代表して、古谷詩織さんが「新成人の誓いのことば」を述べ、中川大城さんが「町民憲章」を朗読しました。

式典が終了してからは、タイムカプセルを開封し、新成人は、小学生当時のことを楽しげに話していました。



**社会を明るくする運動
作文コンテスト優秀賞受賞**

こども館で2月3日、節分を行いました。こどもたちは、それぞれ赤や青、カラフルな色の鬼の面を自分たちで作り、職員が豆をまき、それをこどもたちが、たくさん拾っていました。
この日は、豆まきの他に、みんなで紙芝居を見たり、豆まきの踊りなどをして、楽しみました。
こどもたちの拾った豆は、家に持ち帰り、お父さん、

**カラフルな鬼が出没!!
こども館節分**

旭川地方推進委員会による、第63回「社会を明るくする運動」作文コンテストにおいて、中頓別小学校5年生の風間美緒さんが、「言葉」で伝わるあたたかい気持ち」という題名で小学校の部で優秀賞を受賞しました。
この作文コンテストは、昨年の宮田さん、布施さんに続き2年連続で中頓別小学校から優秀賞が選ばれました。
風間さん今回の受賞おめでとうございます。



お母さんと一緒に食べることです。



1月17日、18日、19日冬の生活リズムを「登校リズム」に切り替えるために、北海道教育大学旭川校の学生を招き、こどもチャレンジ教室が開催されました。
大学生に苦手分野の勉強を教わったり、一緒にドッジボールなどをして楽しみました。
それからこどもたちは、大学生と一緒に豆腐作りにも挑戦。
豆腐作りでは、「これなあ

**こどもチャレンジ教室
みんなでいろいろなことに挑戦**

に？」と初めておからを見るこどももいました。
出来上がった豆腐は、みんなの夕食の食卓に並びました。こどもたちは、「自分たちで作った豆腐は美味しいね。」や「おからも美味しいよ。」など好評。たくさんおかわりをしていました。
その他にも大学生に教わり、スキーマのジュニアバッチテストにも挑戦しました。
初挑戦の児童2名とも見事に合格することができました。
参加したこどもたちは、充実した3日間を過ごすことができました。



平成26年度
新入学予定者名簿



今春の町内小学校新一年生は、平成19年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた10名です。

この名簿は、1月10日現在住民基本台帳を基に作成しています。名前が漏れていたり、氏名等に誤りがありましたら、町教育委員会（電話 6-1111）までご連絡ください。

生年月日順、カッコ内は、保護者名（敬称略）

- 村山 綾菜 (貴彦)
- 玉置 琉偉 (恵)
- あねは 将大 (哲也)
- 姉齒 楓 (太郎)
- くろだ 楓 (太郎)
- 黒田 楓 (太郎)
- すがわら 来土 (健)
- 菅原 来土 (健)
- はなだ 瑠唯 (弘志)
- 花田 瑠唯 (弘志)
- さいとう 碧生 (淳司)
- 齋藤 碧生 (淳司)
- ながお 洋音 (享)
- 長尾 洋音 (享)
- ブレア！アンニヤ(ライオナ)
- 矢作 翔 (時夫)

電源立地地域対策交付金は地域に役立っています

電源立地地域対策交付金は、発電所立地による開発利益を還元し、それにより電源開発を円滑に進めようというもので発電用施設周辺市町村が行う事業に対し交付されるものです。

中頓別町では、幌延深地層研究センターが電源三法交付金の対象となったことにより平成15年度からこの交付金の交付を受けています。

平成25年度は、10,594,500円が交付され「中頓別町国民健康保険病院運営事業」の一部に、この交付金が充てられました。



「米トレーサビリティ法」を

ご存じですか！？

米トレーサビリティ制度がスタート!



食品事故などの問題が発生した場合などに流通ルートを速やかに特定するため米や米加工品の取引等の記録を作成・保存することを事業者には義務付けています。

また、消費者の皆様の商品選択の際の参考とするため、事業者は産地情報の伝達を義務付けています。

消費者である私たちにも関わりのある法律です。

私たちも法律を知ること、で、「安心・安全」なお米を未来へ繋げていきたいと思います。

詳細は、農林水産省HPまたは、北海道農政事務所旭川地域センターまで

(電話) 0166-17611277

国民年金種別変更

国民年金制度では、国内に居住する 20 歳以上 60 歳未満までのすべての方に、加入が義務付けられています。国民年金の加入種別は、次の 3 種類に分かれており、届出は加入時だけでなく、種別が変わったときにも必要です。

種別変更の届出を忘れると、年金が受け取れないこともあります。手続きは、年金手帳を添えて、その都度忘れずに行いましょう。

○国民年金の加入種別

・第 1 号被保険者

自営業や農業・漁業の方とその配偶者、20 歳以上の学生、フリーターの方等が対象となり、加入や種別変更の手続きは、市区役所・町村役場の国民年金担当窓口で行います。

・第 2 号被保険者

会社や官公庁にお勤めの方など、厚生年金や共済組合に加入している方が対象となります。加入手続きは、会社や官公庁が行います。

・第 3 号被保険者

国民年金の第 2 号被保険者に扶養されている配偶者の方が対象となり、届出は、配偶者の勤務先を通じて行います。

○種別変更となるケース

・第 1 号被保険者となるケース

第 2 号被保険者が退職されると第 1 号被保険者（第 3 号被保険者になる場合は除く。）となります。また、その方に扶養されていた第 3 号被保険者がいる場合、その方も第 1 号被保険者になります。

・第 2 号被保険者となるケース

第 1 号被保険者又は第 3 号被保険者が就職して厚生年金等に加入すると第 2 号被保険者になります。

・第 3 号被保険者となるケース

会社等を退職して厚生年金等に加入されている方の被扶養配偶者になる方などが第 3 号被保険者になります。

※ 詳しくはお近くの年金事務所へお問合せください。

退職（失業）時の特例免除制度

免除申請する年度またはその前年度に退職（失業）した人は、特例免除制度を利用することができます。この特例免除では、通常は審査の対象となる本人の所得の状況を除外して審査が行われます。ただし、配偶者、世帯主に一定以上の所得があるときは免除が認められないことがあります。

※ この場合、全額免除のほか、申請者の任意で、4 分の 1 免除、半額免除または 4 分の 3 免除も選択できることになっています。

中頓別町役場 総務課住民グループ（電話 6-1111）

「このゆびと〜まれ♪」 の活動

図書館だより

※2月1日 としよしまつり「せつぶんおたのしみかい」絵本・紙芝居の読み聞かせ・工作のあと、お父さん扮する赤おに・青おにに向かって、豆まきをしました。



注目の新着本

(一般書) 『原発ホワイトアウト』 著：若杉 洸
講談社

キャリア官僚による、リアル告発ノベル！
再稼働が着々と進む原発……しかし日本の原発には、国民が知らされていない致命的な欠陥があった！
この事実を知らせようと動き始めた著者に迫り来る、尾行、嫌がらせ、脅迫……包囲網をかいくぐって国民に原発の危険性を知らせるには、ノンフィクション・ノベルを書くしかなかった！



今月の新着図書（1月31日現在）

一般向け図書

- 『リボン』 小川 糸
- 『夢幻花』 東野圭吾
- 『祈りの幕が下りる時』 東野圭吾
- 『ロスジェネの逆襲』 池井戸 潤
- 『ガソリン生活』 伊坂幸太郎
- 『一路 上・下』 浅田次郎
- 『日本人はいつ日本が好きになったのか』 竹田恒泰
- 『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』 村上春樹
- 『北海道の水辺の生き物の不思議』 川井唯史

※ その他、多数の新着図書が入りました。
どうぞ、ご来室下さい。



「もの忘れがあっても私らしく生きてもらうために…寄り添うとは？」

うな、「脳の障害を止める」薬がまだありません。

●認知症の介護家族になつたとき

今回の研修会には「北海道認知症の人を支える家族の会」で活動されている西村さんを講師にお招きしました。

ご自身の介護の経験を織り交せてのお話はとてもわかりやすく、また日々の相談業務の中から、「家族はなかなか病気を受け止めることができない」「様々な症状により周囲との軋轢ができてやすい」「情けなさや怒りとの葛藤」「自分の生活設計の変更」など家族の状況をお話いただきました。

●ご本人が感じること

では、認知症と診断されたご本人はどう感じているのでしょうか。「何もわかっていないのでは」「何を思われる方が多いのではないか」

講演会の中で認知症と診断された方が自分の気持ちに話さず映像が流れました。「いろんなことを忘れていく自分。わかっていないのにできない。そんな自分がイライラ」「自分が何がわか

らないかわからない」「自分自身がわからない」「料理をしても材料がわからない」「道に迷う」など日々感じている戸惑いが語られました。

忘れていく、自分が自分でなくなる不安の中で、いろんな葛藤をされていることがわかりました。

しかし、記憶に留めておくことが難しくなっても、相手の気持ちはしっかりと感じ取ることが出来ます。

「忘れることが病気なんだと理解し、忘れることを責めないで欲しい。ひとりはさみしい。」との思いを、少しずつ忘れていく不安の中で私たちに伝えてくれました。

●いつまでも住み慣れたこの地で「私らしく」生きていくために…

「認知症」は誰がなるかわからない病気です。いつまでも住み慣れたこの中頓別で「私らしく」生きてもらうために、多くの人の認知症への理解と見守りやちよつと声をかけていただくなどの協力が必要です。

気になること、どう接したらよいかなど悩むことがありましたら、ぜひ、介護福祉センターにご連絡ください。

昨年12月に難病医療研修会の中頓別町で開催しました。この研修会は保健所と南宗谷3町で作っている「南宗谷難病医療システム」の中の事業のひとつです。

中頓別町国民健康保険病院では平成18年より、旭川医科大学神経内科の医師を依頼し、神経内科外来を開設しています。

外来を受診する人の相談内容を見ると、ここ数年「認知機能に関する相談」が増えています。

●誰でも「年をとったら物忘れする」?

確かに、「顔は思い出せるのに名前が出てこない」「何をしようとしていたんだっけ?」という体験をされている方は多いと思います。

認知機能の低下…物忘れには「老化によるもの」と「病的

的なもの」と大きく分かれます。名前や何をしようか忘れることは「老化によるもの」と言えます。それに対して、「服の着方がわからない」「歯ブラシの使い方がわからない」「品物を見てもなんだかわからない」など、今まで出来ていたことができなくなり、日常生活に支障をきたすような状態を「病的なもの忘れ」と言います。これは脳の障害によるもので、その症状により「アルツハイマー型認知症」や「脳血管性認知症」などと言われます。

認知症は「古い」に伴う病気です。病気なので、血圧が高い「高血圧」や血糖が高い「糖代謝異常」、中性脂肪やLDLコレステロールが高くなる「脂質異常症」と同じようなことになりません。

認知症のその大きな問題は、その人自身の記憶を侵し、その人らしさを奪ってしまうことにあります。残念なことにはこの「認知症」という病気には、高血圧や糖代謝異常、脂質異常症のように、飲んだら血圧が下がるとか、血糖値や中性脂肪が下がってよい状態にコントロールされるとい

うな、「脳の障害を止める」薬がまだありません。

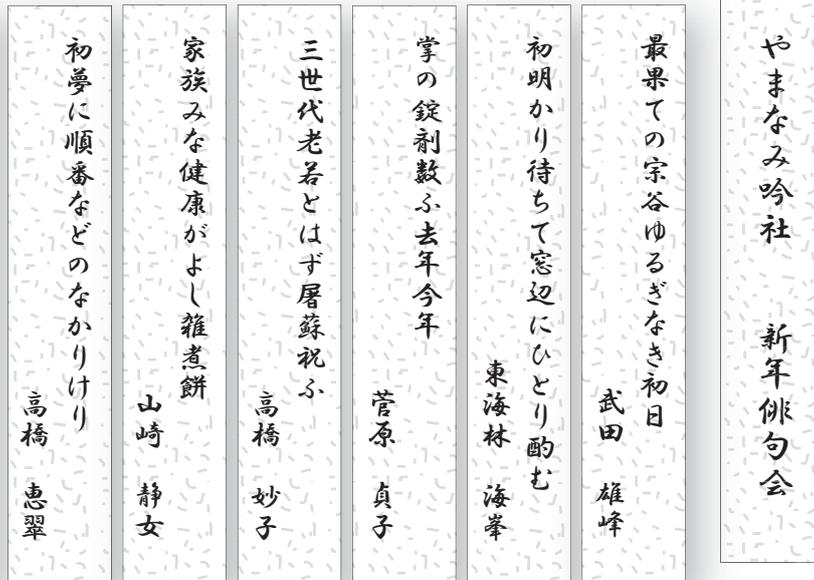
「認知症の介護家族になつたとき

今回の研修会には「北海道認知症の人を支える家族の会」で活動されている西村さんを講師にお招きしました。

ご自身の介護の経験を織り交せてのお話はとてもわかりやすく、また日々の相談業務の中から、「家族はなかなか病気を受け止めることができない」「様々な症状により周囲との軋轢ができてやすい」「情けなさや怒りとの葛藤」「自分の生活設計の変更」など家族の状況をお話いただきました。

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

— 住んでいてよかった これからも住んでいたい —



戸籍だより

12月16日～1月31日受付分
(公開にご了承いただいた方のみ掲載しています。)

おくやみ

字中頓別 菊田 平吉さん
(91歳 1月4日)

人のうごき

(平成25年12月31日現在)

世帯 935(-1)
人口 1,907(-4)
男 945(-3)
女 962(-1)
()内は前月対比

(平成26年1月31日現在)

世帯 932(-3)
人口 1,904(-3)
男 942(-3)
女 962(0)
()内は前月対比

※世帯数・人口・男・女には、
外国人も含まれます。

多重債務・金融一般出張相談会 (旭川会場)
を実施します

北海道財務局では、借金返済の悩みを抱えている方からの相談を受け付け、専門の相談員が無料で親身になってお話を伺い、あなたに合った解決方法を提案しています。
また、預金、融資、保険、貸金、投資商品など金融商品・サービスに関するご質問・ご相談も受け付けています。
今般、次の日程で、「多重債務・金融一般出張相談会」を開催しますので、お気軽にご利用ください。

□日 時 2月25日(火) 10時～17時(相談受付は16時まで)
□会場 旭川地方合同庁舎 (住所 旭川市宮前通4155番31)
□お問合せ 北海道財務局 相談員直通 (9時～17時)
電話 011-807-5144 または 011-807-5145
□主催 北海道財務局・旭川財務事務局

- ・秘密は厳守いたします。
- ・なお、当日お越しいただけない方についても、北海道財務局常設窓口においてご相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

多重債務者相談窓口 電話 011-807-5144
金融ほっとライン 電話 011-807-5145
中小企業等金融円滑化相談窓口 電話 011-729-0177

編集後記

私が以前保健衛生係の頃、今年成人された方々は、まだ赤ちゃんで、よく保健センターに予防注射を打ちに来ていました。その度に注射の痛さで泣いていたのを今でも覚えています。そのこども達が大きくなり立派な大人になって、年月が経つのは早いものだなどつくづく思いました。

20代より30代、30代より40代、年をとればとる程1年過ぎるのが早く感じられます。新成人の皆さん夢に向かって後悔のない人生を送ってくださいね。(tady)

今月の裏表紙



練習の成果で、難しい漢字の札も、お互い取り合っていました。

広報誌なかとんべつ 2月号 Vol.651

【発行】 2014年2月10日

【編集】 中頓別町総務課住民グループ 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172-6 TEL 01634-6-1111. FAX 01634-6-1155
HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp> e-mail : info@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

この広報誌は再生紙を使用しています。